

“ILASS-ASIA 2010

October 21-22, 2010, Ocean Suites Jeju Hotel, Jeju, Korea



ILASS-ASIA 2010 について

14th Annual Conference on **L**iquid **A**tomization and **S**pray **S**ystems-ASIAに参加しました。

液体の微粒化や噴霧が関係していれば、なんでも取り上げている幅広い学会でした。

そして、今回の開催地は、

済州島（韓国）

でした!



済州国際空港に到着

福岡空港から約一時間で到着（東京より近い・・・）

さらに、会場兼宿泊先である”Ocean Suites Jeju Hotel”と済州国際空港が20分と近かったので非常に移動が楽でした。

そして、円をウォンに換金。

10000ウォン→約800円

OCEAN SUITES JEJU HOTEL



物価は日本と大差はないのですが金額は大きいいため、人生ゲーム並にお札をバンバン使います。（金銭感覚が・・・っ！）

濟州島市内

- 東門市場（トンムンシジャン）

海に囲まれている濟州島は新鮮な魚介類に恵まれています。ここ東門市場には、食料品、衣料品、日用雑貨と衣食住全てにわたって豊富な品物を取り揃えており、さすが「濟州島の台所」と呼ばれるだけはあるなと驚かされました。



さまざまな食材がならぶ東門市場

昼食

丁度お昼時だったので、東門市場の食堂で昼食をとることに。
魚介で有名な濟州島、刺身を食べようとお店を探したのですが、どのお店も**キロ単位**でしか刺身を注文できません。色々な種類の刺身を食べたかったのですが、とりあえず、イカを1kg注文しました。
そこで、前菜として出された下の写真の唐辛子。
どこからどう見てもただのシシトウ。
なんにも疑わずに一口食べてみると・・・

KARAッ!!!!

どうやらこれは、唐辛子だったようです。
後日、現地の方々に聞いてみると、みなさんも好んで食べないそうで・・・。
その辛さに涙が止まらず、泣きながらの昼食となりました。



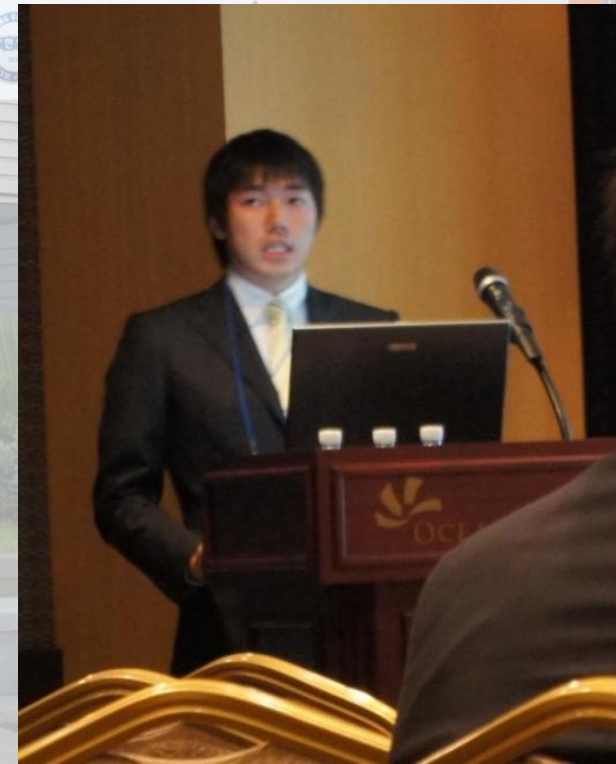
学会初日

初日の発表は大寺のみでした。初めての学会発表だった事もかなり緊張しましたが、質疑応答も無事こなせたと思います！
国際学会なので実際に様々な国籍の方が参加しており、当然ですがみなさん母国語ではなく英語で話しています。それを目の当たりにして工学系の標準語は英語というのを身にしみて実感しました。

次だ・・・



発表を待つ大寺



懇親会

この日は、懇親会が開かれました。

席は決まっておらず、色々な大学の研究者と卓を囲んで交流を深めました。ちょうど韓国の方と一緒にになり、韓国のお酒や食文化について色々な話を聞かせていただきました。

ここで日本から参加していた松本さん、後藤さん、石橋さんと知り合い、お互いの研究内容や学校について意見交換を行いました。



みんなで記念撮影

学会二日目

瀬尾先生、井上さん、タジュールさんの三人も発表を難なくこなしました。やはりタジュールさんは英語が堪能ですね・・・



会場の外にはコーヒーやクッキーなどが用意されており、発表中に質問しきれなかった事を皆さん議論を交わしていました。
こういったコーヒースタンドの時間にも積極的に意見交換をしている光景に驚かされ、こういった姿勢からいいアイディアや新しい考え方が生まれるものなのだろうと感じました。



アワビ訪ねて三千里

この日の夜は、濟州島名物のアワビを求めて夜の濟州島に繰り出しました!!日本語で表記された看板も散見され、日本人がたくさん訪れていることがうかがえます。おかしな日本語も多かったです。雑誌でこのアワビは絶品だと紹介されていたお店を訪ねることにしました。最近の携帯電話は非常に有用で、そのGPS機能を使えば知らない土地でも迷うことなく目的地にたどり着きました。



さすが雑誌で紹介されたただけはあり、調理されるアワビは寸前まで生きていた鮮度抜群の状態を提供してくれます。そして、刺身、寿司、バター焼き、釜飯等々計8品のアワビ料理を堪能しました。しかも、海産物が豊富なため値段も手ごろでした。

醤油をつけると動きます・・・



松本さん、後藤さん、石橋さんお騒がせしました・・・



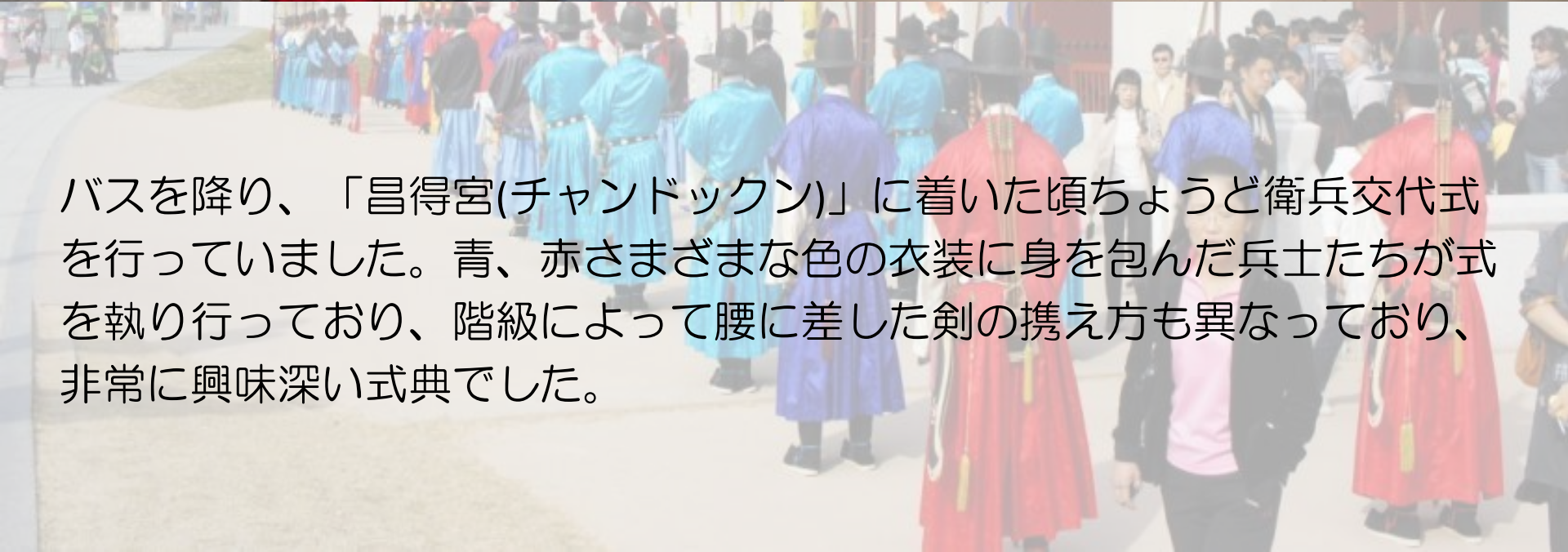
イム君と再開

発表も終わって肩の荷も下り、復路はソウルでトランジット。乗り継ぎの待ち時間がかなりあったので、昨年前まで研究室にいたイム君に会うことにしました。連絡ミスなどもあり合流できないかも・・・という一幕もありましたが、イム君がなんとか見つけてくれて無事合流できました。その後、短い間でしたがイム君にソウル市内を案内してもらいました。まず、最初に向かったのは、「チャングムの誓い」など韓国宮廷の時代劇では必ずと言っていいほどロケが行われる「昌得宮(チャンドックン)」に向かいました。近くにあると行かないもので、本人も初めてだったそうです。



「イムの顔も三度まで」だよ！

イム君



バスを降り、「昌得宮(チャンドックン)」に着いた頃ちょうど衛兵交代式を行っていました。青、赤さまざまの色衣装に身を包んだ兵士たちが式を執り行っており、階級によって腰に差した剣の携え方も異なっており、非常に興味深い式典でした。

SHOW 글로벌밍센터
Global Moring Center

rooming
Rent a Phone

SK telecom

More than an airport.
Beyond Expectation

Soon!!

기간 (Period) 2

